

江戸時代の一点を選ぶなら功山寺の拳兵

関ヶ原1600年に始まり明治維新に終わる

天皇の統帥権は明治時代は元老がいて良いシステムであった

長州藩毛利家の備え（年頭の挨拶）

明倫館 山県周南 荻生徂徠の高弟

「朱子学」一斉講義による、受身で、
序列的・段階的「画一的な学び」

「徂徠学」「自発的な学び」を重んじ、
「学べば誰でも相応に伸び」
「各人の特性に応じて、誰もが世に役立つ」

⇒中国のように全国統一ではなく各藩の自主性が

吉田松陰

吉田松陰 陽明学 知行合一 狂いたまえ

「生きている限り、大きな仕事が出来ると思うなら、いつまでも生きよ。
死ぬほどの価値のある場面と思ったら、いつでも死ぬべし」

門下の高杉晋作1865年功山寺の拳兵
奇兵隊、山縣有朋も

「開戦を防ぐ」を問うChatGPT

- ・非常に難しいが、中国に(1915) 対華二十一カ条要求の仕方によっては太平洋戦争は避けられたか。
- ・欧州の帝国主義的侵略を踏襲した要求だが、どう見てもかなり過剰な要求。大隈内閣VS山縣有朋
- ・真っ先に反対したのは中国ではなくて、米国だった
- ・石原はこの撤廃が必要。日中関係と日米関係を好転



ジョブズが次世代の若者たちに語った言葉は、
「ハングリーであれ、愚かであれ」

本日のストーリー その1

- ・ 高杉、北九州に逃れる
- ・ 高杉、仲間を集めるのに失敗
- ・ 俗論派、正義派を大弾圧
軍艦も幕府に引き渡そうとする
- ・ 山縣有朋、赤根武人ら、恭順の意を示す
- ・ 高杉、舞い戻って説得するが、
粗相と失言の連続、大失敗

▽

晋作の決意

- ・ 12月14日の決起を**決意**
- ・ 鎧と馬を用意
- ・ 決起を呼びかける（敵は三千人）
応じたのは、**伊藤俊輔**ただ一人
- ・ 三条実美ら五卿に挨拶
満月の夜に、**一人**で出撃

K • 15日 伊藤と石川小五郎ら**83人**、集合。

▽

駆け付けた志士たち

伊藤博文
河瀬真孝（石川小五郎）
井上馨
山田顕義
品川弥二郎
河上彦斎

最後に、山縣有朋

- ・ 奉行所を襲撃。**無血**で武器と兵糧を入手
- ・ 海軍局を襲撃。**無血**で軍艦を入手
- ・ 進軍を開始
- ・ 山縣、合流
- ・ 絵堂の戦い（**200VS.1300**）で
正義派勝利
- ・ **正義派政権、樹立！**

晋作の名言 その一

俺はいまより、
萩に駆けつけ殿様に直諫申し上げる。

萩へ行く途中、
俗論党に惨殺されるともあえて厭わぬ。

いまの場合、
一里行けば一里の忠を尽くし、
二里行けば二里の義をあらわす。

尊皇の臣士たるものが、
一日たりとも安閑としている場合ではない。

晋作の名言 その二

是よりは
長州男児の腕前
お目に懸け申すべく